

東北地方 1か月予報

(10月4日から11月3日までの天候見通し)

平成20年10月3日
仙台管区気象台発表

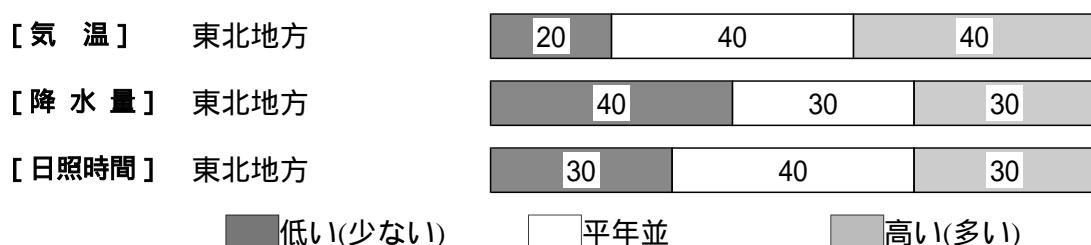
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。

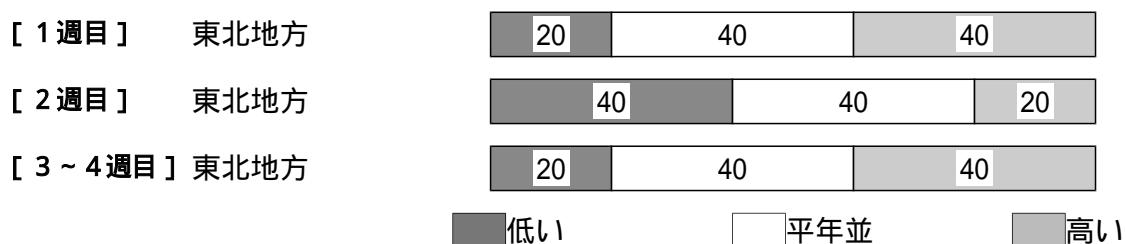
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は平年並または高い確率がともに40%、2週目は平年並または低い確率がともに40%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 10月 4日(土) ~ 11月 3日(月)
1週目 : 10月 4日(土) ~ 10月 10日(金)
2週目 : 10月 11日(土) ~ 10月 17日(金)
3~4週目 : 10月 18日(土) ~ 10月 31日(金)

<次回発表予定等>

- 1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月10日
3か月予報：10月23日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	11.9	110.0	148.5	14.4	12.9	10.8
深浦	12.7	161.9	130.6	15.0	13.7	11.7
むつ	11.6	113.5	157.6	13.9	12.6	10.6
八戸	12.1	77.9	163.5	14.4	13.1	11.0
秋田	13.0	160.3	143.1	15.4	13.9	11.9
盛岡	11.1	98.7	147.7	13.6	12.1	9.9
大船渡	13.2	139.2	147.7	15.4	14.1	12.1
宮古	12.5	105.9	157.0	14.7	13.5	11.5
仙台	14.2	97.6	153.2	16.5	15.2	13.2
石巻	13.6	101.7	160.4	15.9	14.6	12.5
山形	12.5	76.8	130.4	15.0	13.6	11.4
新庄	11.7	158.3	101.6	14.3	12.7	10.5
酒田	14.1	176.4	138.4	16.3	15.0	13.0
福島	14.1	93.2	141.6	16.5	15.2	13.0
若松	12.5	75.6	118.7	15.2	13.6	11.2
白河	12.6	105.1	146.4	14.9	13.6	11.5
小名浜	15.5	147.1	158.0	17.6	16.4	14.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.3	81 ~ 110	96 ~ 104
東北日本海側	-0.6 ~ +0.3	87 ~ 109	96 ~ 103
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.4	67 ~ 118	97 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.4
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年10月3日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月4日~11月3日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

1週目(10月4日~10月10日) :

期間の前半は気圧の谷の影響で曇りや雨の日がありますが、期間の後半は高気圧におおわれ、おおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

2週目(10月11日~10月17日) :

天気は数日の周期で変わりますが、一時寒気の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

3~4週目(10月18日~10月31日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

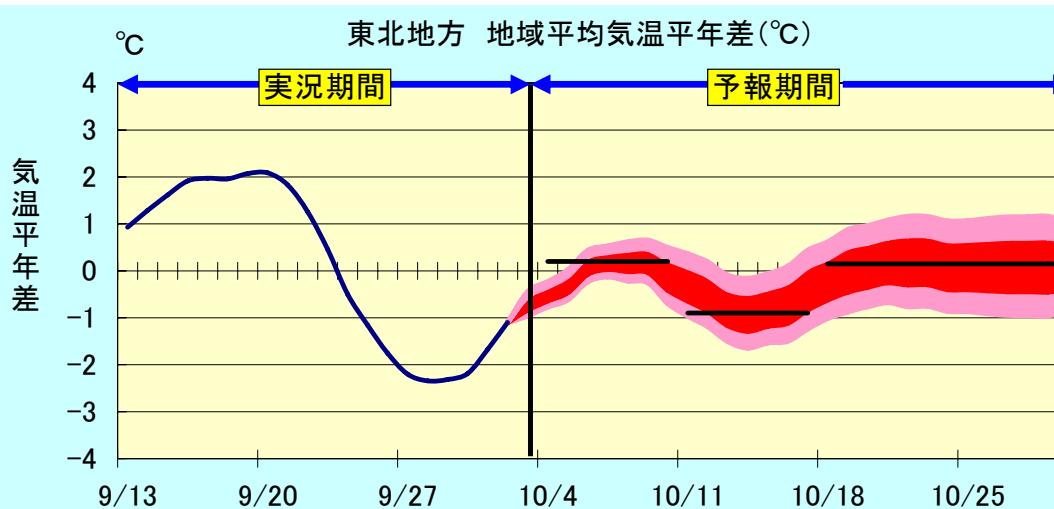
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.1日	3.4日	3.3日	6.4日
東北太平洋側	16.0日	3.7日	3.9日	8.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、3~4週目は平年付近、2週目は平年を下回る予想となっている。



* 実況期間(図の左側)の太い実線: 東北地方の平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

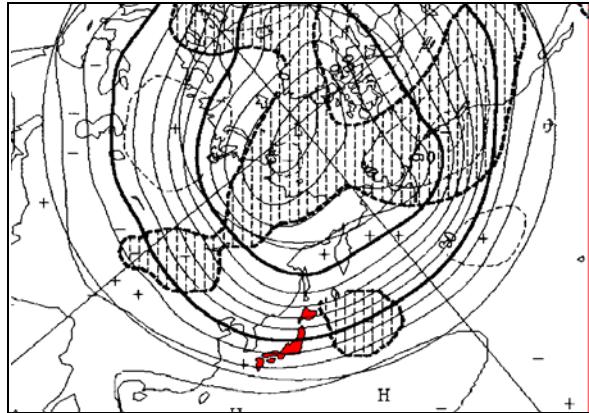
* 水平な3本の実線: 予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

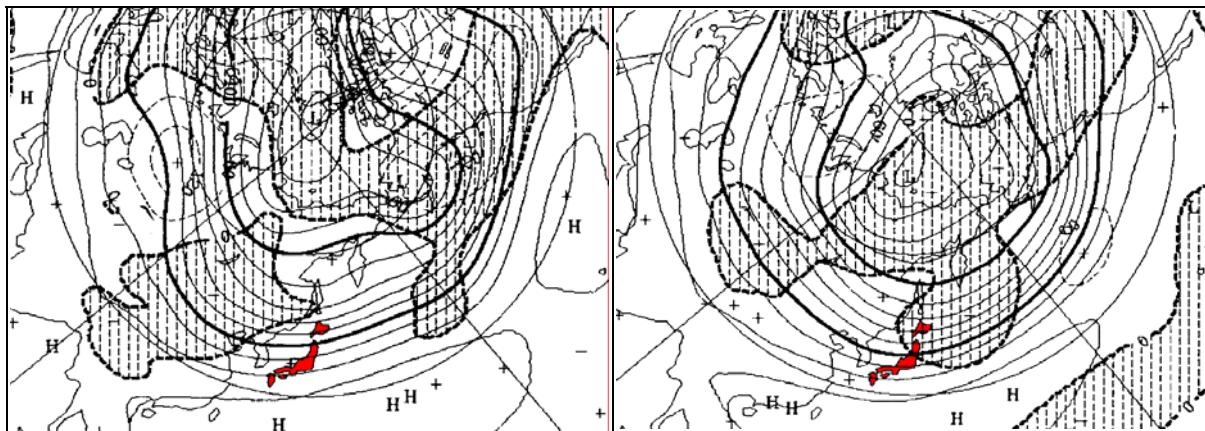
1か月平均: 極東域はバイカル湖付近と日本の東海上に負偏差が見られるほかは、広く正偏差。一時的に寒気の影響を受けることが見込まれるが、月をとおしての気温は高温傾向が予想される。日本付近に偏西風の大きな蛇行は見られず、天気は数日の周期で変わる見込み。

1週目: ユーラシア大陸の中高緯度帯に波列の伝播が見られる。日本付近は正偏差となり、高温傾向が予想される。

2週目: 日本の北側および東海上は負偏差で、東谷傾向。一時寒気の南下が見込まれ、気温は低温傾向が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

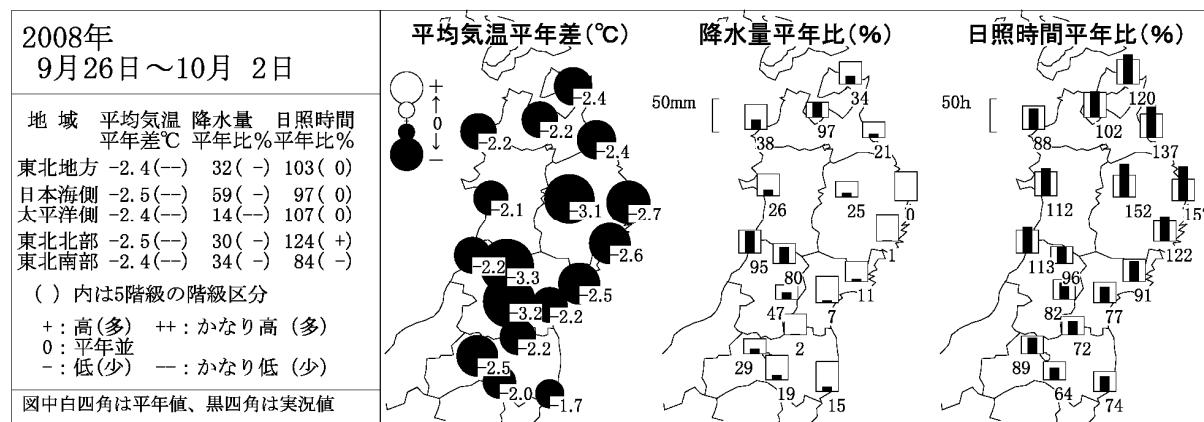
実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (9月26日～10月2日) の天候の経過

期間の前半は、この時期としては強い寒気が南下したため気温はかなり低くなり、東北日本海側を中心に曇りや雨の日が多かった。この寒気の南下により、岩手山と月山では27日に、鳥海山と飯豊山では28日に初冠雪が観測された。期間の後半は、東西に広がる高気圧におおわれて晴れの日が多くなったが、東北南部では日本の南岸に停滞する前線の影響で曇りの日もあった。

平均気温は東北地方でかなり低い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）